

## 2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	診療放射線技師学科(夜間部)		科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科目名	公衆衛生学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対象学年	1年次		学期及び曜時限	後期	教室名	第3校舎 801教室
担当教員	櫻井 玲	実務経験と その関連資格	渡辺外科病院に診療放射線技師として4年間従事し感染安全委員会に所属し公衆衛生管理者として活動した。			
《授業科目における学習内容》						
公衆衛生とは地域社会の組織的な努力を通じて疾病を予防し、寿命を延ばし、健康と活力を増進するための科学と技術である。近年の社会制度と公衆衛生の役割を理解し、それらの変化が健康に与える影響と諸制度を学習する。						
《成績評価の方法と基準》						
筆記試験(100%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書:特になし(プリントを授業中に配布する) 参考文献:わかりやすい公衆衛生学 [第4版] 清水 忠彦 編集 スーヴェルヒロカワ発行 コンパクト公衆衛生[第6版] 松浦賢長 編集 朝倉書店						
《授業外における学習方法》						
配布したプリントを事前に読んでおくこと わからない単語は事前に調べておくこと						
《履修に当たっての留意点》						
公衆衛生は多くの分野から成り立っている。そのため8回の授業とは別に準備学習も十分に行うことが大切である。授業中、自由に質疑やコメントを歓迎し、積極的な意見交換を行いたい。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	国の責務と公衆衛生の領域と活動の特徴と、健康の成立要因と予防の概念について理解し説明できる	プロジェクター	授業で配ったプリントをよく予習・復習しておくこと	
		各コマにおける授業予定	公衆衛生の定義・健康の概念と定義			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	プライマリヘルスケアとヘルスプロモーションの特徴と概念を理解し説明できる	プロジェクター	授業で配ったプリントをよく予習・復習しておくこと	
		各コマにおける授業予定	プライマリヘルスケアとヘルスプロモーション			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	健康の多要因、集団の健康被害の理解、集団検診について説明できる	プロジェクター	授業で配ったプリントをよく予習・復習しておくこと	
		各コマにおける授業予定	健康と環境			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	疫学的因果関係、臨床疫学とエビデンスについて理解し、人口問題、人口動態統計、健康状態と受領状況について説明できる	プロジェクター	授業で配ったプリントをよく予習・復習しておくこと	
		各コマにおける授業予定	疫学的方法・健康の指標			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	感染症の定義と成立要因、種類、流行の動向について理解し、病原体対策、検疫、消毒・滅菌について説明できる	プロジェクター	授業で配ったプリントをよく予習・復習しておくこと	
		各コマにおける授業予定	感染症の予防 I			

